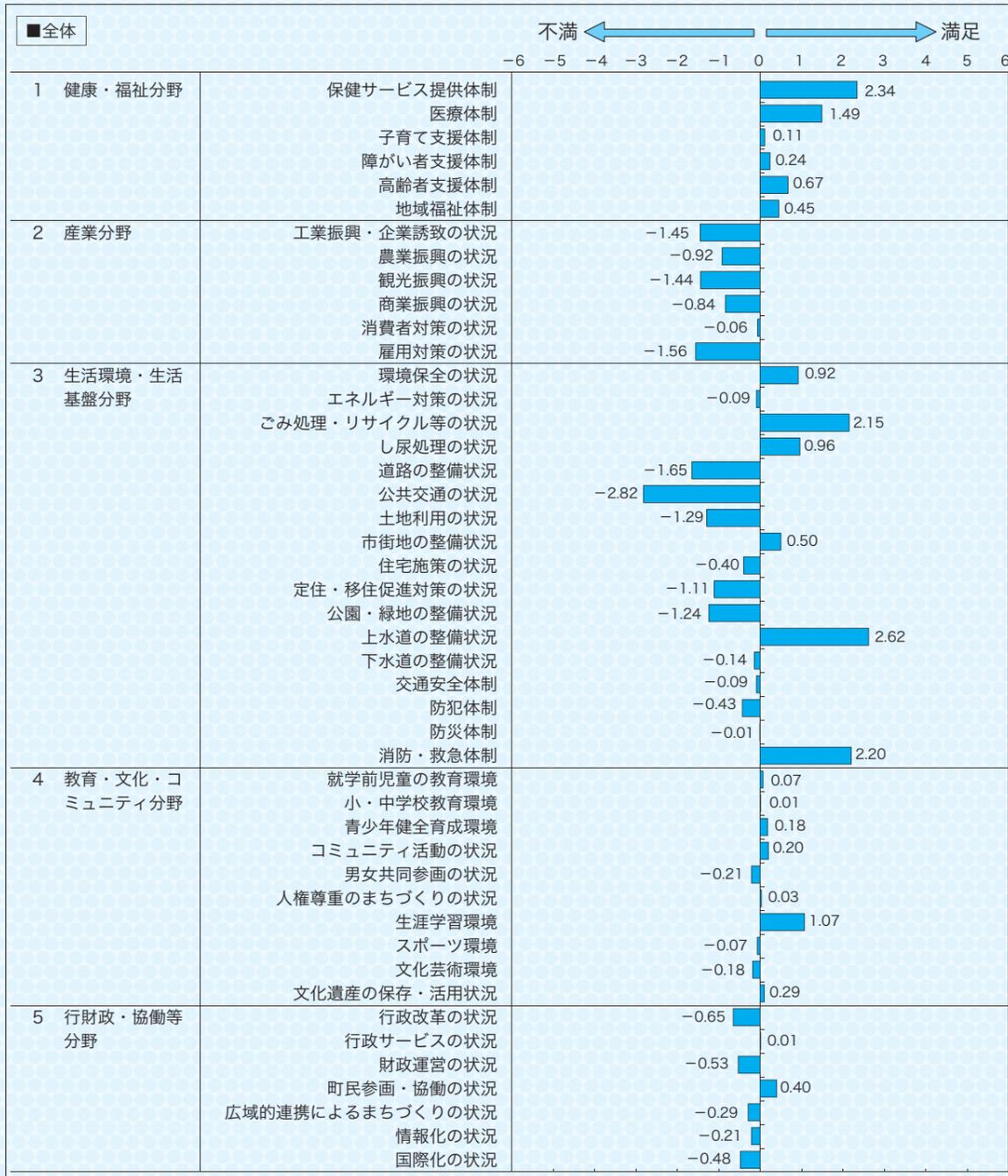


まちの現状と今後の取り組みについて

●満足度

まちの各環境について、現在どの程度満足しているかを把握するため、健康・福祉分野、産業分野、生活環境・生活基盤分野、教育・文化・コミュニティ分野、行財政・協働等分野の5分野46項目を設定し、項目ごとに「満足している」、「どちらかといえば満足している」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満である」、「不満である」の5段階で評価してもらい、評価点（満足度：最高点10点、中間点0点、最低点-10点）を算出しました。



全体的にみると、健康・福祉分野の項目全般と生活環境・生活基盤分野の中の生活環境に関する項目（上水道、消防・救急、ごみ処理・リサイクルなど）の満足度が高く、産業分野の項目全般と生活環境・生活基盤分野の中の生活基盤に関する項目（公共交通、道路、土地利用など）の満足度が低くなっています。46項目のうち、満足度がプラス評価の項目が21項目、マイナス評価の項目が25項目となっています。

まちづくりに関する町民アンケート調査の結果【概要】

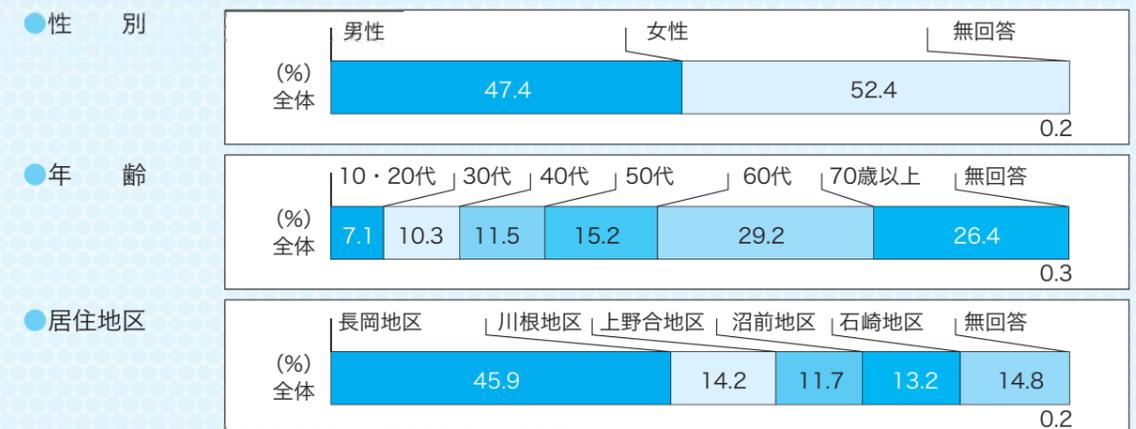
町では、平成29年度、今後10年間のまちづくりの指針となる「茨城町第6次総合計画」を策定する予定です。

この計画に、町民の皆様のご意見・ご提案を活用できるよう実施しました「茨城町の新しいまちづくりのための町民アンケート調査」の結果がまとまりましたので、お知らせします。

多くの皆様のご協力をいただき、ありがとうございました。

【調査対象】 満18歳以上の町民3,000人
 【抽出方法】 住民基本台帳から性別、年代及び居住地区別に無作為抽出
 【調査期間】 平成28年9月2日から平成28年9月16日まで
 【回答率】 36.6% (1,098人)

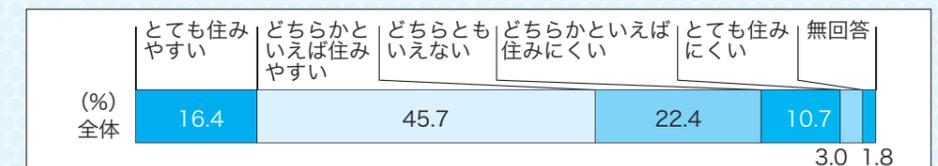
回答者の属性について



まちへの愛着度と定住意向などについて

●住みやすさ

「どちらかといえば住みやすい」と答えた人が45.7%で最も多く、これに「とても住みやすい」（16.4%）をあわせた“住みやすい”という人が62.1%にのぼっています。これに対して、“住みにくい”という人（「どちらかといえば住みにくい」（10.7%）と「とても住みにくい」（3.0%）の合計）は13.7%にとどまっており、住みやすいまちだと思っている町民の割合は高いといえます。また、前回のアンケート（平成23年12月実施）と比較すると、“住みやすい”が約6%上昇しています。



●居住意向

「住み続けたい」と答えた人が41.9%で最も多く、これに「できれば住み続けたい」（27.5%）をあわせた“住み続けたい”という人が69.4%にのぼっています。これに対して、“移転したい”という人（「できれば町外に移転したい」（12.3%）と「町外に移転したい」（2.6%）の合計）は14.9%にとどまっており、定住意向は強いといえます。また、前回のアンケート（平成23年12月実施）と比較すると、“住み続けたい”が約9%上昇しています。

